

産学公等連携による知識共創で 様々な課題解決へ



－ 知的対流推進事業 －

【 東京大学生産技術研究所との連携協定に基づく
海洋再生可能エネルギー研究開発に関する支援 他 】

1. 平塚市の紹介



国土地理院「基盤地図情報データ」をもとに神奈川県が作成したものを編集・加工

人口 25万8,500人 (2024.1.1時点)

面積 67.88km²



毎年7月に七夕まつりを開催



大学・農商工高校など、教育機関が充実



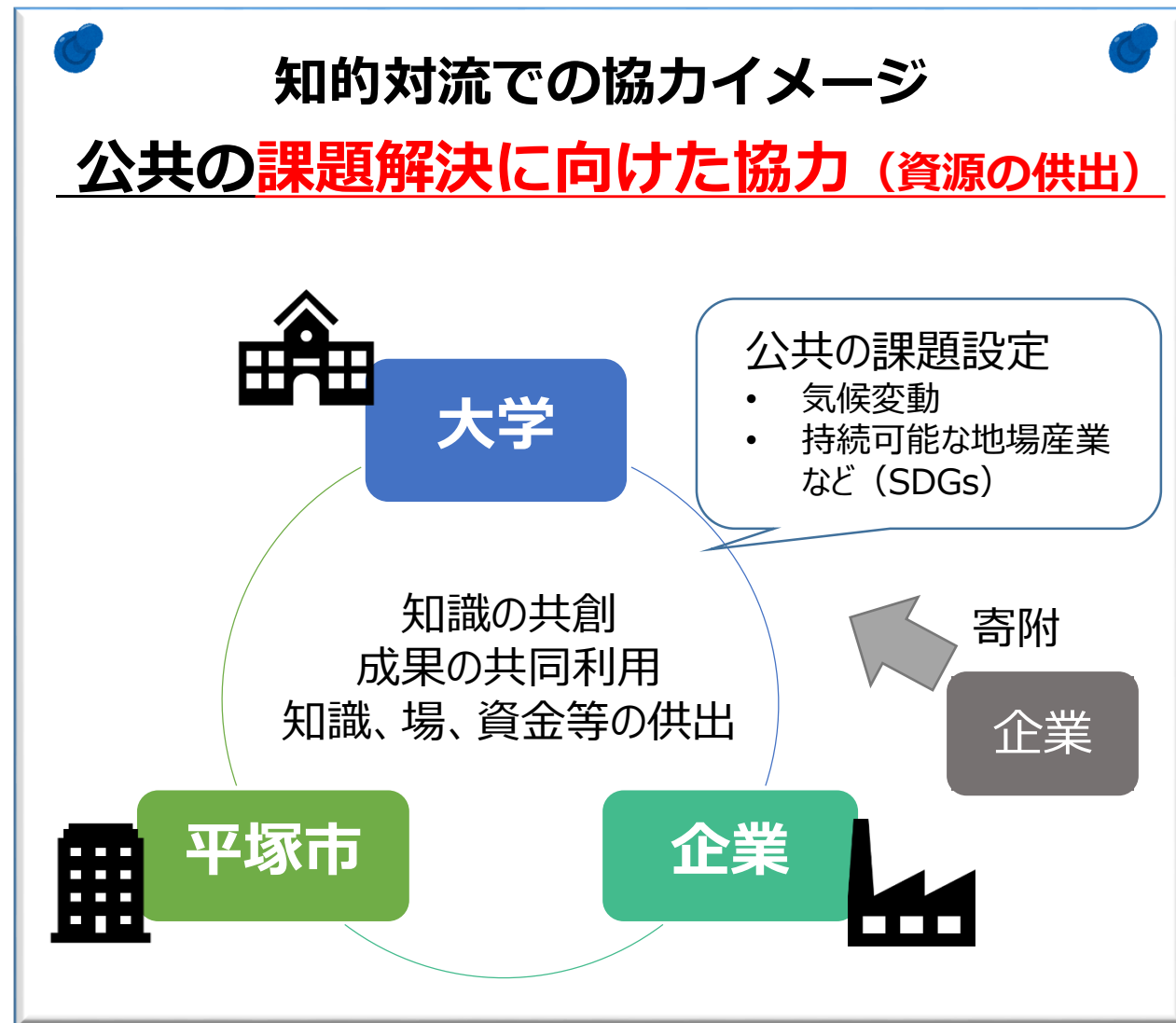
多様な企業や工場が集積

2. 事業の背景・目的

知的対流とは・・・

『イノベーション創出のために自治体や地域内の事業者、住民、大学や研究機関、金融機関等の産学官金等が連携して、知恵やアイデアを出し合い、実際の活動に昇華させていく「場」』を「知的対流拠点」と呼んでいます。

※国土交通省国土政策局の『ローカル版「知的対流拠点」づくりマニュアル（改訂版）』より



2. 事業の背景・目的

平塚市では、この「知的対流拠点」の考え方を参考に、

世界に通用する技術を持つ企業や研究所が多数ある本市の特色と資源を活かして、

知的対流（課題に対して、企業や大学、NPOなど様々な分野の人たちが入り込んで議論を重ねることによって、その熱量が周りに波及したり、そこで生まれた解決策がまた別の課題解決にも使えるなど、

知識や熱量が対流していく事象）を市内で増やそうと、**知的対流推進事業**を行っています。



目的：産学公等の連携による**知識共創**活動を通じた様々な課題解決

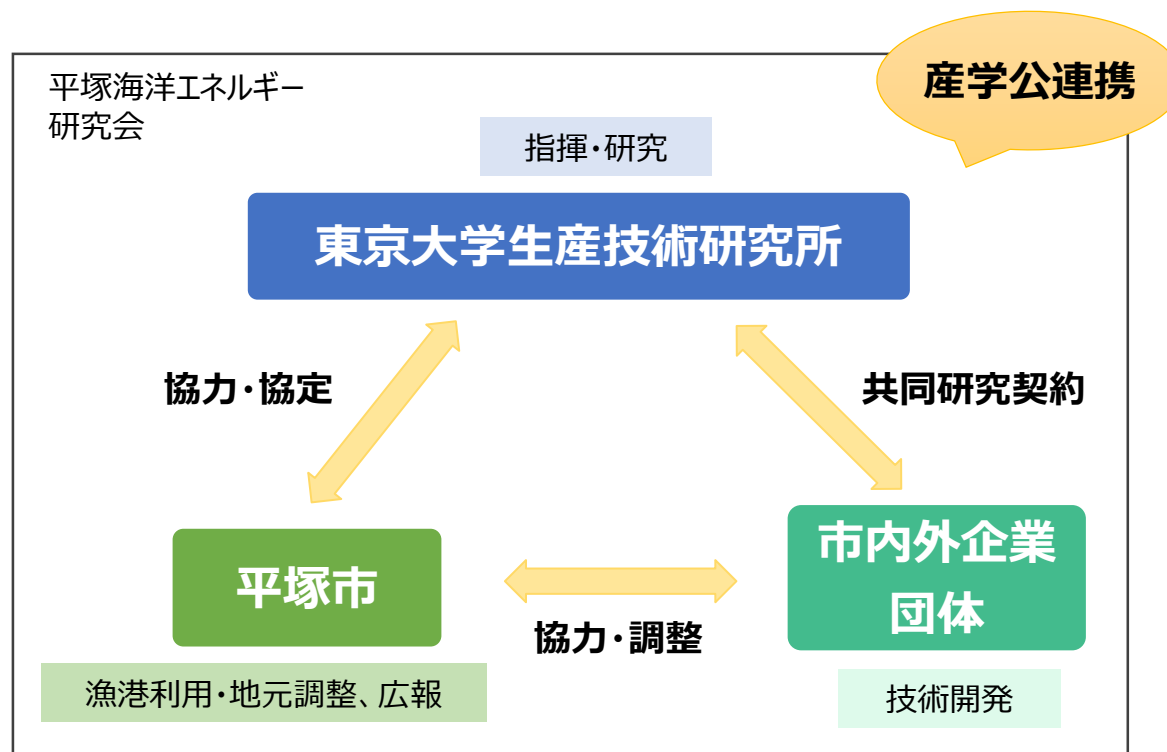
3. 事業の内容

知的対流推進事業のうち

特に企業の皆様に 応援／ご寄附 いただきたいプロジェクト

「東京大学生産技術研究所との連携協定に基づく、波力発電の研究開発拠点化支援」

平塚市では、東京大学生産技術研究所との連携協定のもと、海洋再生可能エネルギーの1つとなりうる波力発電の高効率・低コスト化の実証試験や研究開発拠点化を支援しています。



3. 事業の内容

【波力発電プロジェクト】これまでの主な取組 ▶



平塚波力発電所の海域実証

- 東京大学生産技術研究所が、CO₂排出削減技術を開発する環境省の事業に選ばれ、平塚波力発電所の設置が決定し、**海域実証試験**を行いました（2018～2021年度）
- 東京電力の電線につないでの実証事業を実施
（東京電力のような系統に接続・発電できたのは**世界的にもかなりレアなケース**）

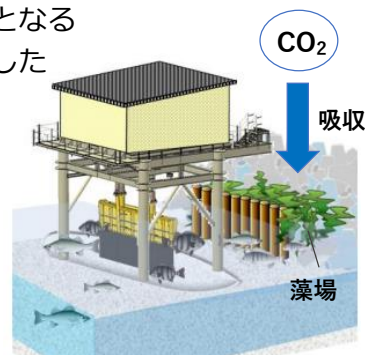
（その他の取組）

波力発電所を活用したブルーカーボン実証実験

発電所の波反射板背後は、波が弱くなるため、**藻場造成の適地**となる可能性があることから、海藻類（ワカメ）の育成試験を行いました

電池推進船の漁業利用の実証実験

漁船の電化が経済的にも脱炭素にも効果的であると考え、波力発電所からの給電を想定して、実証実験を行いました



環境省「平成30年度CO₂排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業」
平塚波力発電所（※2022年2月に撤去済み）



企業版ふるさと納税の寄付活用事業が評価され、令和5年度「地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）に係る大臣表彰」を神奈川県内で初めて平塚市が受賞しました

4. 現状の課題・得られる成果

【 波力発電プロジェクト 】 現状の課題・得られる成果

● 次の新型波力発電所の開発に向けて…

- ・ 高効率・低コスト化の実証試験等支援中
- ・ 資金調達支援中



資金調達後

新型波力発電所の海域設置
研究開発拠点化



波力発電の全国展開
波力発電関連人材の育成

この波力発電プロジェクトは産学公の連携で
技術系の要素をすべてカバー



海洋再生可能エネルギー普及に必要な要素

5. 寄附企業様のメリット

● 企業認知度アップ&企業イメージの向上

- ◆ 市長から感謝状の贈呈
- ◆ ホームページ掲載
- ◆ 記者発表プレスリリース など

● SDGsへの間接的な寄与

IRやCSRの観点から寄附していただく企業様も増えています

- そのほか、寄附を活用した実証実験の見学等も希望があれば可能な限り対応させていただきます

ひらつかビジネスチャンネル



2024年度 寄附企業インタビュー動画より



2023年度 波力発電第3世代発電機ベンチ試験見学会の様子

5. 寄附企業様のメリット

寄附企業様からのお声

平塚市の当事業に 寄附を決定した理由は？



- 当社が目指す**サステナビリティ方針**と、(東大の研究内容である)波力発電実証試験との親和性が(取組目的や進め方など複数観点から)高いと考えました
- **カーボンニュートラル**に資するもので、**地域性の高い**取組(海のある平塚市×東大の海洋再生可能エネルギー研究開発)だったため
- 波力発電の**今後の可能性**を評価しました
- **独自性の高い取組である**ことが魅力的に映りました

5. 寄附企業様のメリット

寄附企業様からのお声

平塚市の当事業に寄附をして よかったことは？



- 当社では実現できない再生可能エネルギーに資する取組を、**企業版ふるさと納税**というかたちで**支援**できたことがよかった
- まだ普及していない「波力発電」の研究開発への寄附は、「**将来への投資**」という意味で、非常に意義のあるものだったと考えています
- **従業員に再生可能エネルギーを意識してもらうきっかけになりました**

さいごに・・・

◆ 企業版ふるさと納税等での本事業への資金的支援

◆ 企業版ふるさと納税（人材派遣型）で、ガバメント・クラウドファンディング等の ノウハウの提供

- ・ 再生可能エネルギーへの投資を検討している企業の皆様
- ・ 脱炭素に関心の高い企業、脱炭素のマーケットに強い企業の皆様
- ・ クラウドファンディングの実績、ノウハウを有する企業の皆様
- ・ 平塚市の取組にご賛同いただける企業の皆様

ご提案・ご相談
大歓迎です



市HP



ひらつかビジネス
チャンネル

連絡先

平塚市産業振興部産業振興課 川口・磯崎

☎ 0463-21-9758

✉ sangyo-s@city.hiratsuka.kanagawa.jp

HP https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/sangyo/page33_00141.html